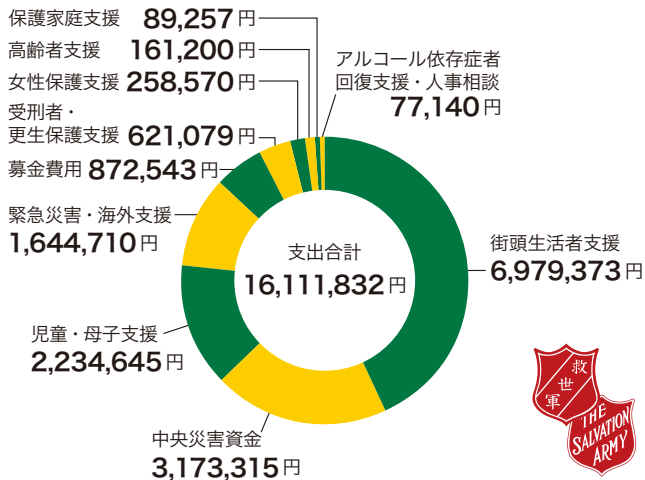


皆様のご寄付により、これらの活動が支えられていますこと、心より感謝申し上げます。

2022年度  
社会鍋募金  
実績報告

歳末社会鍋募金(東京地区)	6,358,691円
通年社会鍋募金	4,696,274円
活動準備金より	5,056,867円

合計 **16,111,832円**



2022年度の社会鍋募金による支援活動



「杉並みんなの食堂」では、こども100円、おとな200円で食事を提供しました。



東京の神田では、社会福祉協議会を通じて、生活困窮家庭を支援しました。



大阪市内の経済的困難を覚える通信制の高校生のため食料支援を行いました。



コロナ禍で利用者が倍増する山谷地区で給食活動を行っています。



7月豪雨被災地久留米市田主丸町へ物資提供、泥かき支援を行いました。



断水となった静岡市清水区に、飲料等をお届けしました。



救世軍

# 社会鍋2023

THE SALVATION ARMY CHRISTMAS KETTLE

イエス・キリストの言葉

愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙 3章 14節

どこでもその場で募金ができる

## オンライン社会鍋

社会情勢を考慮し、今年度もオンラインでも社会鍋を実施いたします。右のQRコードを読み取るか、救世軍HPよりアクセスしてください。



救世軍本営

〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町 2-17  
Tel 03-3237-0881  
Fax 03-3237-3588  
<https://www.salvationarmy.or.jp>



## 世界134の国と地域で神の愛を伝える救世軍

救世軍は、キリスト教(プロテスタント)の教会と社会福祉・医療・教育施設等を通して活動しています。創立者は、イギリスのメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブース。1865年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々を物心両面から救うためにその働きを始めました。現在は、世界134の国と地域で助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。



11月30日は  
「社会鍋の日」

三脚に鍋をつらし、ラッパを吹きながら街頭で募金をする「社会鍋」は、歳末助け合い募金の先駆けとして知られ、俳句の季語にもなっています。一般社団法人日本記念日協会は、2015年、毎年12月に開始する募金活動をアナウンスする日として、11月30日を「社会鍋の日」と認定しました。

### なぜ鍋をぶら下げているのですか？

これは、今から114年前、アメリカの救世軍で行われていたスープ壺をぶら下げて募金をするスタイルを日本風にアレンジしたものです。貧しくお正月の準備もできない家庭に、寄せられた寄付金で食べ物を買って詰め合わせ、届けて回るためでした。その後、寄付金は、救世軍が行う様々な支援活動に使われるようになりましたが、この募金スタイルは変わることなく、今日も誰かの心と体を温めるために、街頭に立っているのです。

## 第7回 救世軍社会鍋 俳句コンテスト 受賞作品

懐妊を  
告げられし午後  
社会鍋  
(足立有希様)

最優秀賞

社会鍋  
戦禍の空も  
こんな青  
(高田典子様)

高三は  
半透明よ  
社会鍋  
(吉瀬千咲様)

優秀賞

## 第8回 救世軍社会鍋 俳句コンテストのお知らせ

首様の作品を  
募集します！

- 募集内容** 社会鍋を題材にした未発表作品  
**作品数** 1人2句まで  
**応募方法** ・応募用紙の郵送、Fax、e-mail  
・救世軍HP「応募フォーム」より  
※ペンネーム不可  
**応募先** 救世軍本営  
「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係  
**締め切り** 2024年3月31日(日) 消印有効  
※お問い合わせは救世軍本営「救世軍社会鍋  
俳句コンテスト係」まで。